

駐日大使人材交流シンポジウム
2026 年 7 月 7 日
NAGOMi (外国人材共生支援全国協会)主催
総轄：塩崎恭久(NAGOMi 副会長)

●6 人の大使、公使の皆さま方、大変貴重なご発表、誠にありがとうございました。日本政府から、堀井外務副大臣、松島総理補佐官のご参加にも感謝申し上げます。

●このところ増加が顕著な外国人に関する我が国政府による政策に関しては、昨年の参議院選挙などを見ての通り、国民的関心も大変高くなっており、本日の各大使からの示唆に富み、日本を深く愛し、理解しつつ、率直かつ含蓄のあるご意見を様々頂戴する機会を得たことは、大変時宜にかなう、私からも、心から感謝申し上げます。

●現在、高市内閣は、与党と一体となり、「外国人との秩序ある共生社会」実現を目指し、鋭意、外国人政策の大きな見直しと新たな政策の構築に取り組んでおり、本日の皆様からの貴重なご指導を生かし、アジア諸国を中心とする国々からおいで頂く皆様と、日本の地域社会の発展に役立たせて頂きたいと思っております。

●皆様のご意見に共通していた点は、アジアの若い世代は、引き続き日本で働き、生活することをポジティブに評価して頂いていることでした。

●しかし、同時に、その日本の魅力を維持するには、日本も大いに努力することが必要不可欠だ、という事だったと思っております。

●日本からは、技能・技術、勤勉な仕事の進め方、労働倫理、規律を重んじる文化、高い品質、安全、責任感、時間を守る、など、多くを学んで母国に持ち帰り、母国の発展に寄与したい、とのことでした。

●しかし、外国人材が日本の地域社会で、一層活躍し、貢献するには、日本には、改めて頑張ってもらわないといけない事がある、との大事なご注文も頂戴しました。

●外国人材が、地域社会により溶け込むためにも、①日本語教育への一層の投資、②メンタルを含めた多言語のワンストップ相談体制、③ゴミ出しを含めた日本の習慣、社会規範、法律順守などを学ぶ機会の一層の提供、など、これまで以上の肌理細かい支援の仕組みへの期待が示されました。

●しかし、おそらく最も大事で、持続的な「外国人との秩序ある共生社会」実現の土台となる事としてご提起頂いたポイントは、働く限りは、「公正で透明性の高い労働環境」を作る事であり、さらには「平等なキャリア形成とキャリアアップの機会確保」だったと思います。

●言い換えれば、「世界の人材の力を、日本が公正・公平に評価し、それに見合った処遇を提供する国になる」という事であり、その為にも、「努力すれば確実にキャリア形成・キャリアアップが実現する」という国に生まれ変わらなければならない、との大事な指摘を頂いたと思います。

●その意味するところは、「国籍も、性別も、年齢も、宗教も、雇用形態なども関係なく、公正な能力・実績評価に基づく評価、より具体的には『同一労働同一賃金』を実現する国に日本がなれ」、という事ではないでしょうか？

●その為には、育成就労制度、特定技能制度は一つの哲学や法律の下で、働く人々の権利を守りながら、確実にキャリア形成もキャリアアップも実現可能とすることが重要で、そうしたことを実現する法制度改革が必要ではないか、との問題提起を受けたものと私は思いました。

●ご指摘の通り、新しい時代となりつつある世界の中で、日本も生まれ変わらねば、日本が生き残ることはできないと思います。政府の体制も、これまでの過渡的かつ、パッチワークのような付け足しを繰り返すのではなく、外国人政策に関する基本的な考え方を法律でも、外国人政策に関する「基本法」として明確にしながら、抜本的な改革を断行して日本も大きく変わらなくてはなりません。本日おいで頂いた国々を含む世界の期待に、日本がさらに応え得る国になるべき時が来ていることを感じさせて頂く、大変良い機会を大使の皆様から頂いたと思います。

●私達も、その方向性の実現に向け、さらに努力精進したいと思います。
本日は、誠にありがとうございました。

以上